

事業名 CD		歴史と景観をおりなす里づくり事業
細分化した事業名		歴史と景観をおりなす里づくり事業
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	次代へつなぐ歴史・文化の醸成	
	小項目	地域文化の創造・継承	
関連する個別計画等	0	根拠条例等	文化財総合的把握モデル事業実施要項
関連する事業	0		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	神山町をモデルとして、歴史・文化的景観を活かしたまちづくりを展開するため。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民
これまでの改善経過	神山町を中心にまちづくりの基礎となる歴史・文化的景観を構成要素の基礎的な把握を行った。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ■委託 ■補助金 ○その他 (0) 神山町在住者を中心とした市民及び韮崎市歴史文化基本構想等策定委員会の専門委員による歴史・文化的景観の構成要素の調査。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	平成21年度までに把握した歴史・文化的景観を構成する要素を継承・活用し、まちづくりを行う手法を検討し、構想・計画を策定する。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度	
A	事業費 (千円)	0	1,602	1,713	
財源内訳	国庫支出金		1,600	1,712	
	県支出金				
	市債				
	その他				
	一般財源		2	1	
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)		0.23	0.23	
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)		1,587	1,569	
D	総事業費(A+C) (千円)		3,189	3,282	
*参考		H21)市民1人当りの事業コスト	102 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	神山地域の歴史文化景観構成要素の地域住民による調査	調査区域数	0	0	3
	神山地域の歴史文化景観構成要素に関する専門委員による調査	建造物調査等数+区域数	0	15	20
成果指標	調査実施区域数	調査実施区域数/調査予定区域数	0.00	0.00	0.75
	神山町の歴史文化景観構成要素を基にしたテーマの作成	作成したテーマ数	0	0	5
効率指標	進捗率(%)			80.00	80.00

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 継承・活用対象となる資源の基礎的事項を把握することは、今後の構想・計画策定のために必要不可欠である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 地域の大切な資源として、地域住民による発見及び、専門委員の調査成果を組み合わせることにより、「武田の里」以外のテーマを模索できた。一方で、具体的な保護・活用についての検討は平成22年度以降の検討となっている。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 専門的調査については策定委員会の専門委員に依頼していることから、民間会社へ調査を委託するよりも経費軽減を実現。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか) (1) 中長期的 文化庁委託事業として実施している韮崎市歴史文化基本構想の次のステップとして、歴史まちづくり法等に向けて庁内プロジェクト・ワーキングなどで検討を行う。同時に、歴史文化景観の基礎的把握を継続する。	(2) 23年度 H22年度に策定予定の歴史文化基本構想をもとにして、構想の具現化に向けて実施計画等を検討する。	(3) 22年度 昨年度までの調査、及び今年前半の調査を基にしつつ、韮崎市歴史文化基本構想を策定する。 なお、庁内プロジェクトチーム・ワーキンググループによる検討も実施し、民・官・学の視点による検討をおこなう。
	21年度の改善計画	専門的視点のみならず、地域住民の視点から歴史文化景観構成要素を把握し、住民視点へのまちづくりに向けての基礎作りを行う。	
	21年度の改善結果	神山町地域の4地区のうち3地区において、地域住民参加型による歴史文化景観構成要素の把握を「お宝探シツアー」として実施し、基礎資料の作成をおこなった。	
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	来年度の向け「基本構想及び活用計画」の準備が進んでおり成果を期待したい		